

児童朝会3月

4日(水)児童朝会をしました。まず、3月の昔の言い方、校庭の花の冬芽もだいぶ丸みを帯びて春の光を感じる季節になっていること、3学期はあっという間に過ぎ去り、この学年で過ごす時間も少なくなっていることなどを話しました。続いて、今月は卒業式が行われるが、卒業式は単なるセレモニーではなく、6年間でどれだけ立派に成長したかを披露する大切な場であること、1～5年生にとっては、修了式がその場にあたることを話しました。成果は、返事、動き、姿勢に表れるので、自分の一番かっこいい姿を周りの人に見てほしいと伝えました。続けて、学校は、今の幸せを思いっきり味わう場所であると同時に、次の学年や中学校生活に向けて心の準備を整える場所でもあること。そして、子どもの頃に身につけた「頑張る心」や「優しい気持ち」は、「一生の宝物」になるので、感謝の気持ちを忘れずに最後の1か月、最高の締めくくりをしてほしいと話しました。その後、表彰状を渡し、富田先生から学校のルールについての話をして終わりました。



全校生が揃っている場での話は今年度最後になりました。1年間で何か1つでも子ども達の心に残っていたら良いなと思っています。

～追伸～

No.99でお知らせした児童アンケート結果及び教職員自己評価結果について、表の見方の解説を追加します。

今回、表記している評価は結果です。頑張っとうまうかなかった評価も、頑張らずにうまうかなかった評価も、厳しくつけた評価も、甘くつけた評価も結果としては同じ評価になる場合があります。しかし、評価が低いから頑張らなかつたというわけではありません。例えば、児童アンケート結果3「文章を読んだり、書いたりする力や計算する力がのびた」について、頑張ったけれど力がなかなか定着しなかつた子もいれば、本人が頑張らなかつたので当然力がつかなかつた子もいます。教職員自己評価でも自分への評価を厳しくつけた人、客観的にみて判断した人、自分の中で評価の甘くなつた人等視点が異なることで、全体として結果を見た時に現状や教職員の認識と評価にズレが生じている部分もあります。これらの点のご理解をお願いいたします。